

目的

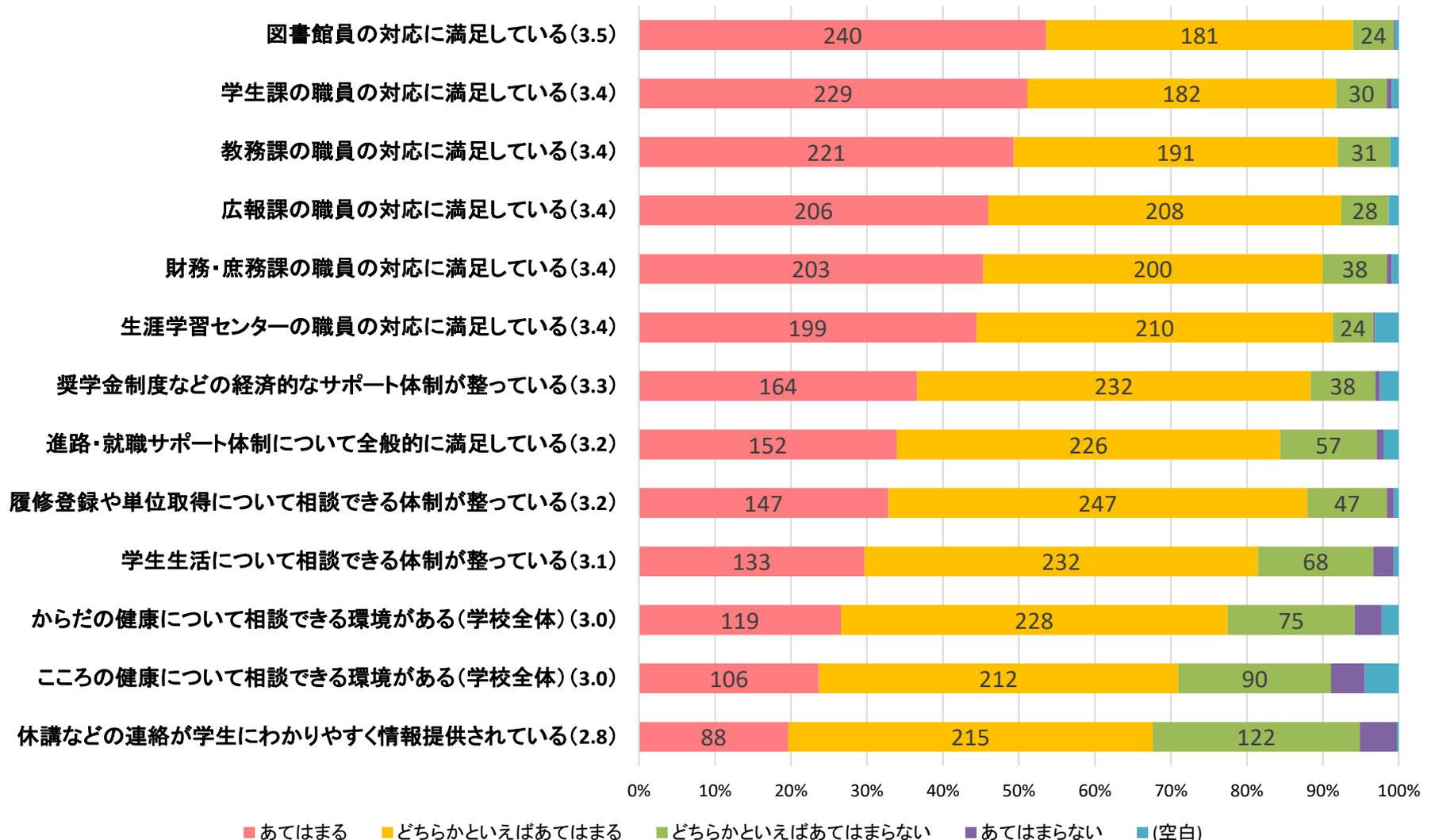
本学学生の学生生活に対する満足度、学生の知識・能力の変化、教育に対する満足度を調査することにより、教育内容や短期大学スタッフの在り方を見直し、今後の教育活動や業務活動の改善及び充実を図る一助とする。

調査方法

デザイン	量的調査
対 象	本学全学生
調査期間	平成30年12月17日～平成31年1月23日
回収状況	対象在学生507名 回収数450 回収率 88.3% 、有効回答数 448
質問紙	無記名自記式質問紙
調査方法	各クラスにて教職員が調査の目的を説明して配布し、記入が終了したのち回収を行った。
分析方法	単純集計

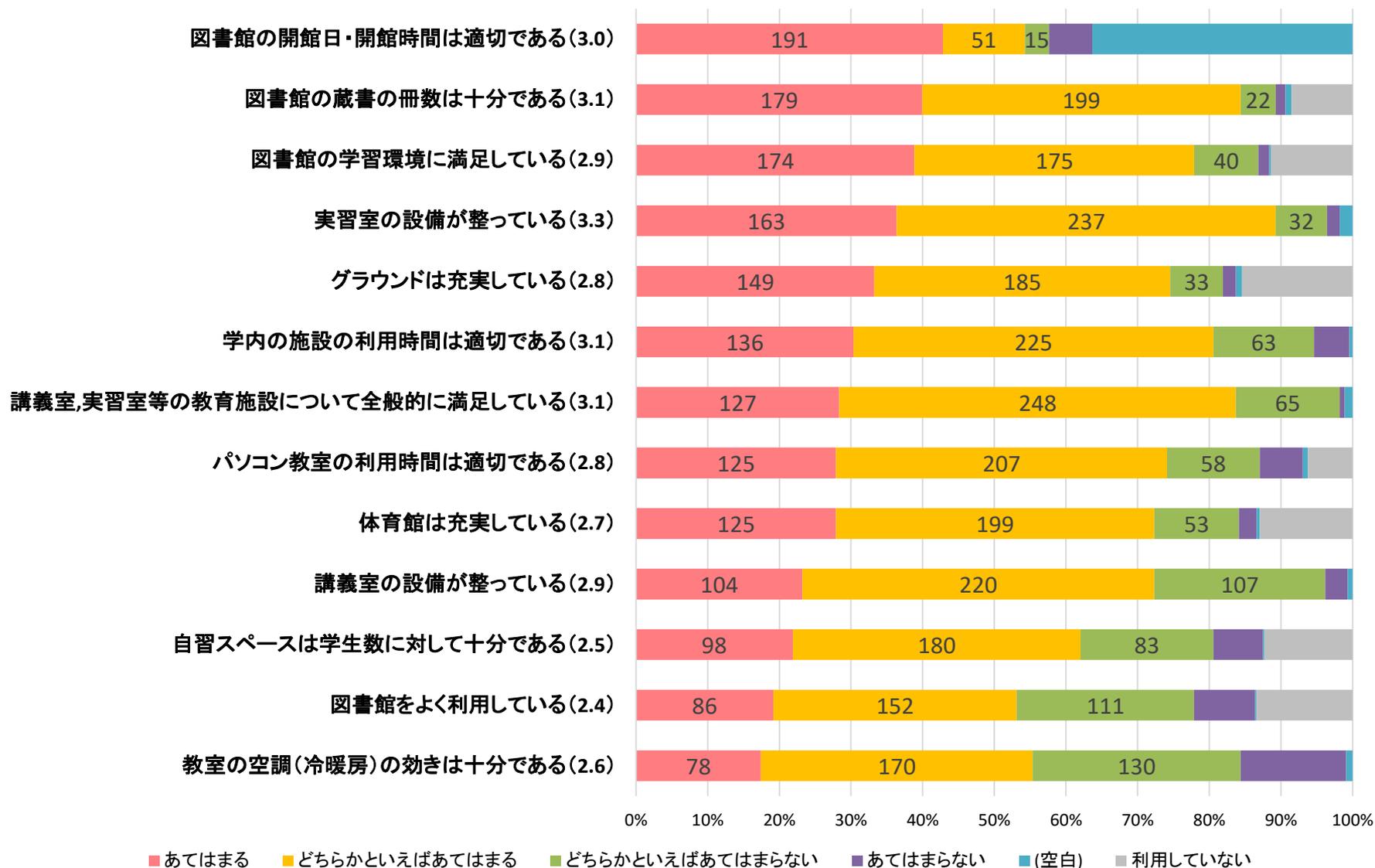
短期大学スタッフの対応およびサポートに関する満足度

N=448



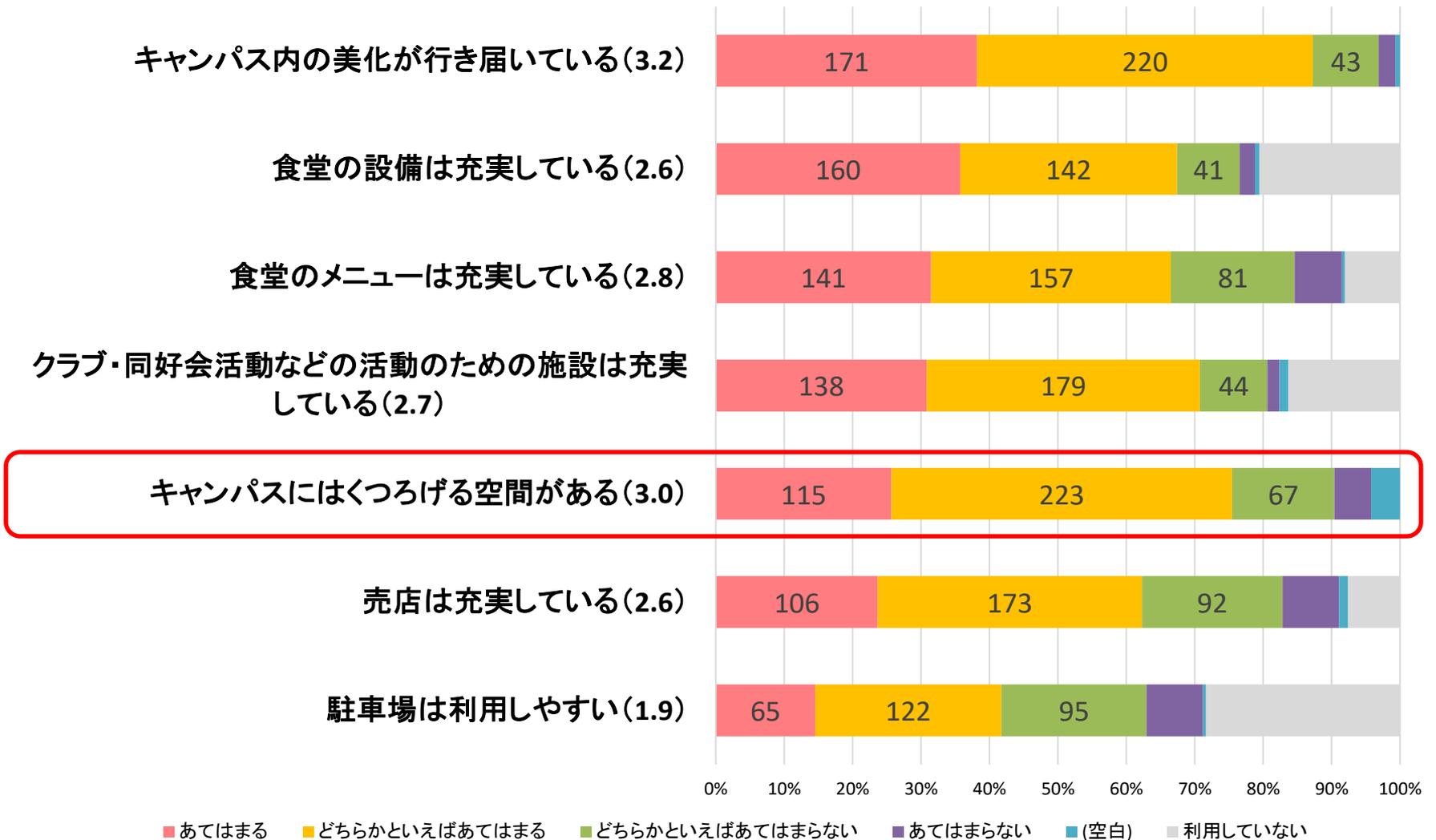
教育施設・設備についての満足度

N=448



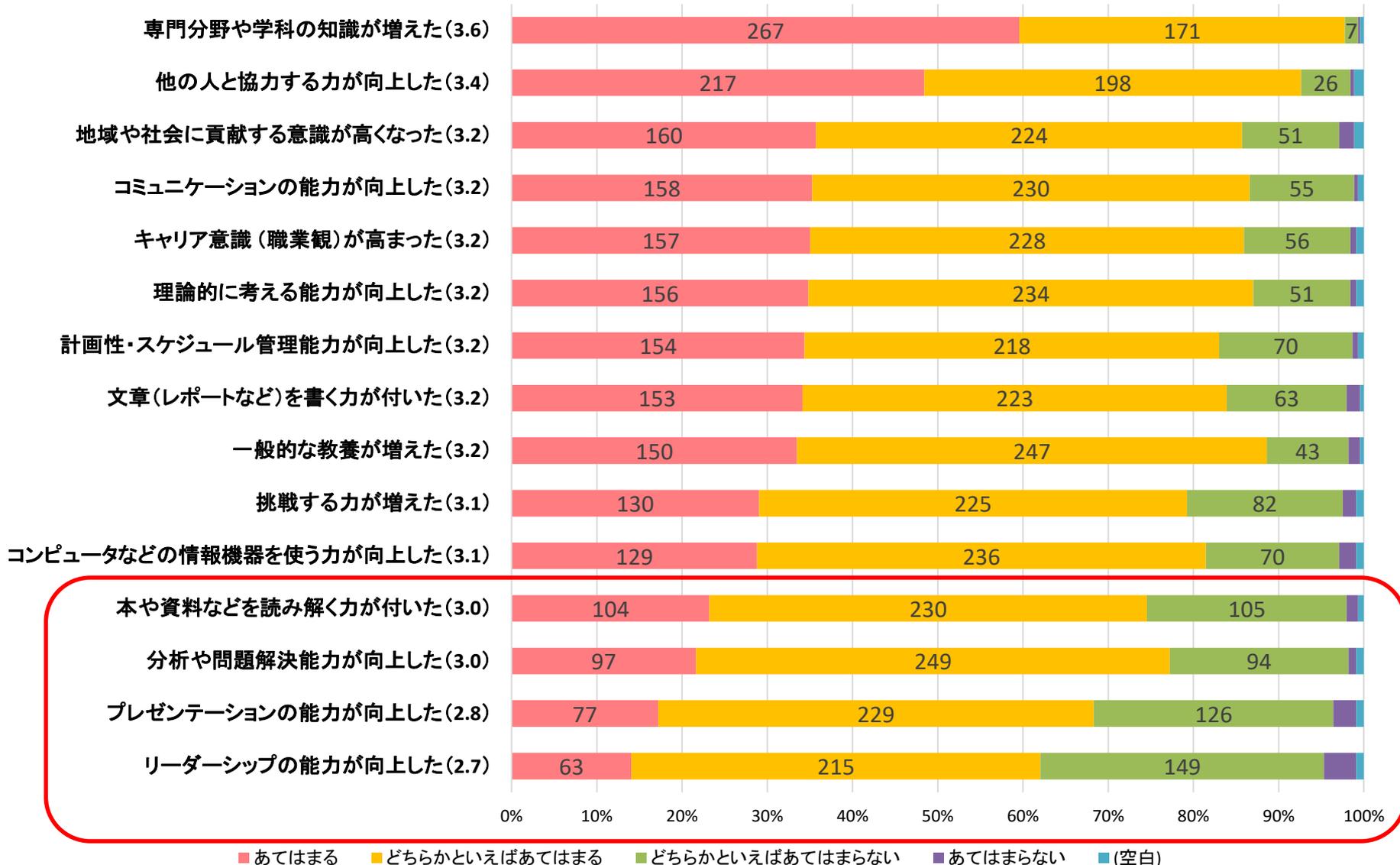
学生生活についての満足度

N=448



入学した時点と比べた知識や能力の変化

N=448

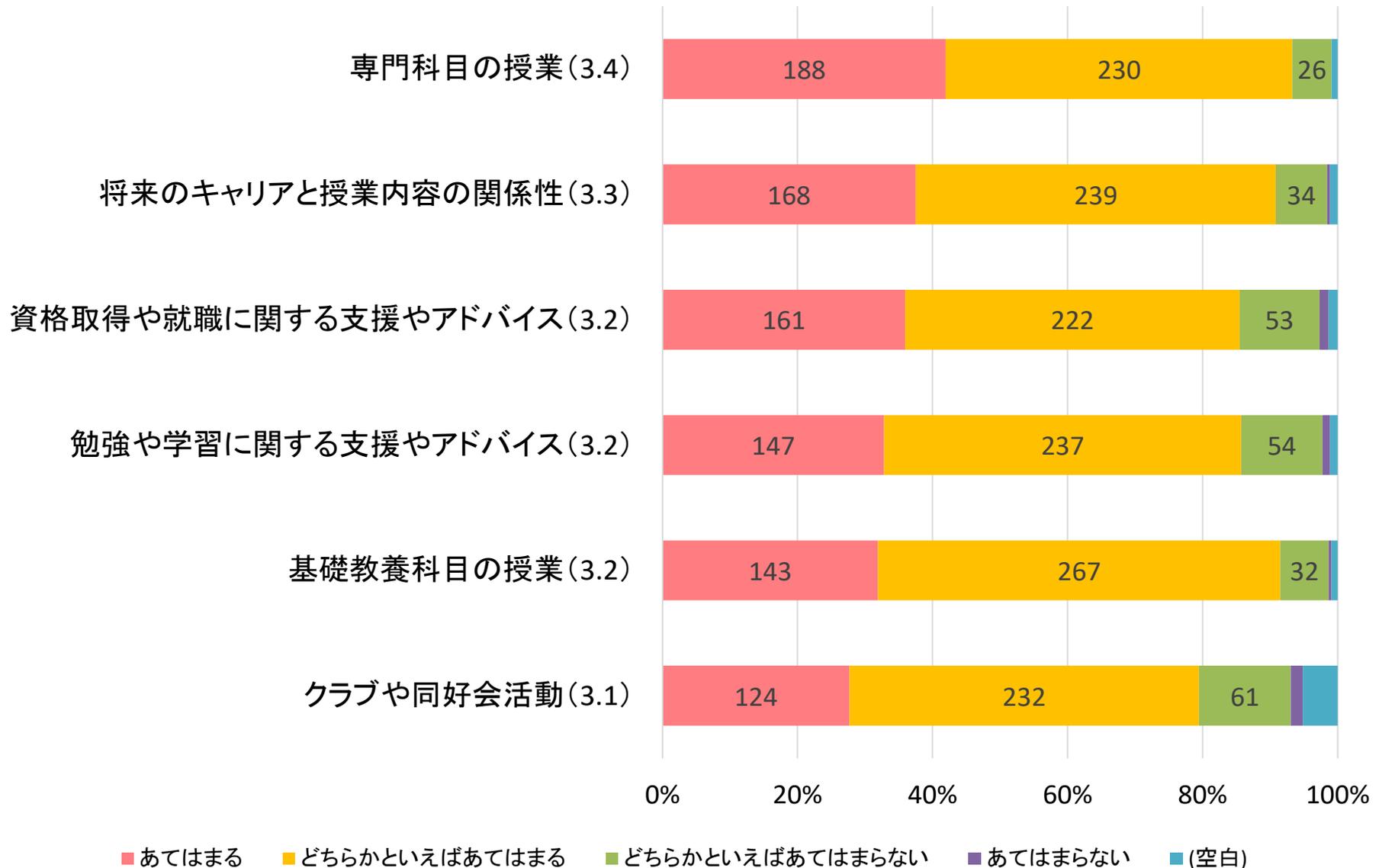


学年別の点数比較(知識や能力の変化)

	一般的な教養が増えた	専門分野や学科の知識が増えた	理論的に考える能力が向上した	リーダーシップの能力が向上した	他の人と協力する力が向上した	地域や社会に貢献する意識が高くなった	文章・レポを書く力が付いた	本や資料などを読む力が付いた	分析や問題解決能力が向上した	コミュニケーション能力が向上した	プレゼン能力が向上した	情報機器を使う力が向上した	挑戦する力が増えた	計画性・スケジュール管理能力が向上した	キャリア意識・職業観が高まった
1年	3.24	3.58	3.21	2.65	3.43	3.18	3.16	2.92	2.94	3.21	2.71	3.07	3.06	3.19	3.25
2年	3.11	3.49	3.10	2.70	3.34	3.15	3.04	2.89	2.92	3.16	2.88	3.02	3.02	3.06	3.08
3年	3.51	3.93	3.76	3.24	3.78	3.62	3.73	3.53	3.47	3.56	3.24	3.49	3.42	3.60	3.62

教育活動への満足度

N=448



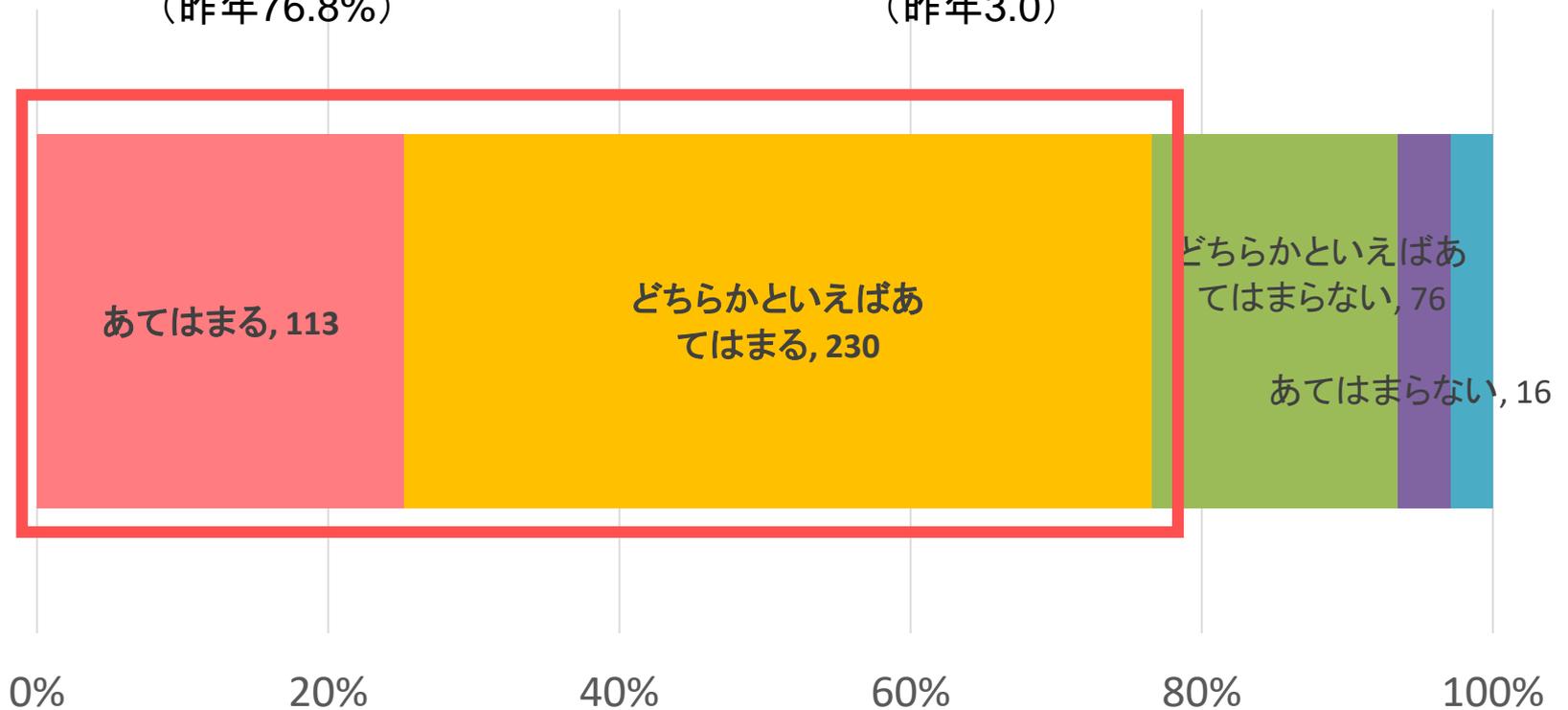
平成30年度 学生生活(全般)への満足度

N=448

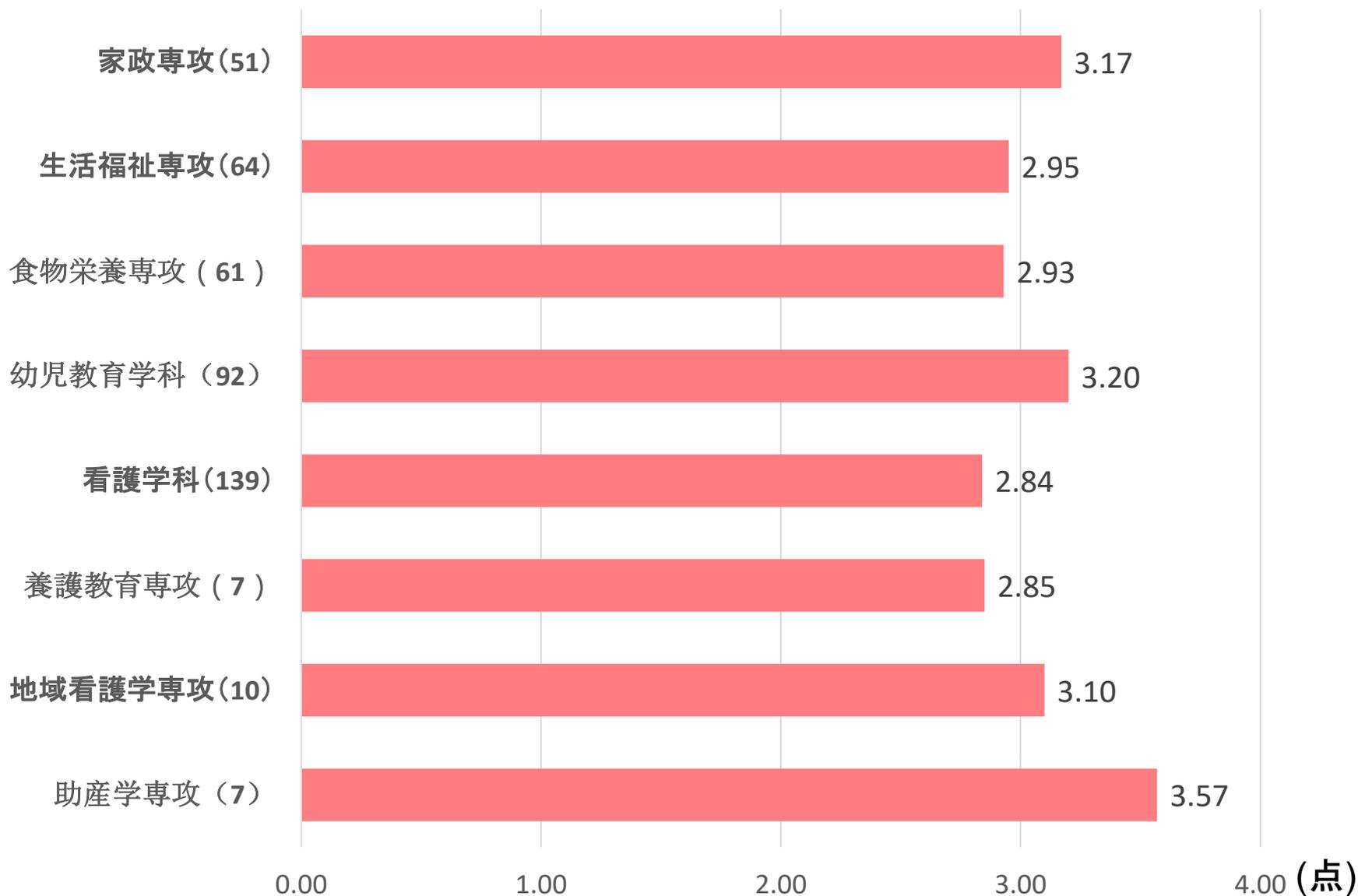
76.6%の学生が満足と回答(3.0)

(昨年76.8%)

(昨年3.0)



平成30年度 学生生活(全般)への満足度(学科別)



平日の勉強時間(学科専攻別平均)

	1年	2年	3年
家政専攻(53)	1時間10分	48分	
生活福祉専攻(64)	49分	49分	
食物栄養専攻(64)	1時間23分	1時間32分	
幼児教育学科(94)	32分	50分	
看護学科(142)	2時間10分	1時間49分	4時間7分
養護教育専攻(7)	0分	1時間10分	
地域看護学専攻(11)	1時間19分		
助産学専攻(7)	2時間30分		

休日の勉強時間(学科専攻別平均)

	1年	2年	3年
家政専攻(53)	1時間38分	34分	
生活福祉専攻(64)	1時間17分	1時間11分	
食物栄養専攻(64)	2時間9分	1時間50分	
幼児教育学科(94)	37分	1時間	
看護学科(142)	3時間8分	3時間21分	6時間
養護教育専攻(7)	15分	1時間10分	
地域看護学専攻(11)	1時間44分		
助産学専攻(7)	3時間52分		

自由記述

- 冷暖房の改善、特に暖房について
- 駐車場の改善・南門の改善
- 食堂のメニューや食数の不足
- 図書館の開館時間拡大等
- 勉強するスペースの不足
- Wi-fiの増設
- 電子レンジ・電気ポットが欲しい
- トイレを洋式にしてほしい

からだの健康について相談できる環境がある
こころの健康について相談できる環境がある

- 相談場所がわからない
- 誰に相談したらよいのかわからない
- 情報がない、頼みにくい
- 本気で話す気になれない
- 話そうと思えない
- 保健室の先生に相談できる
- 先生が話しやすい、親しみやすい
- 健康センターがあるから

どんな空間があったら くつろぐことができるか

- 個室スペース、完全個室、自習室、区切られている空間
- 静かな空間
- カフェ、コーヒーお茶が飲めるスペース
- ソファ、ロビーの椅子の増設
- コンビニ

まとめ

- 毎年施設設備の充実に関しては改善策を講じていても要望数が多いためさらなる対策を講じる必要がある。
- キャンパス内でくつろげる場所として学生はゆったりできて、1人になれるに空間を望んでいる。
- 学生生活への満足度は昨年と変化がなかったが、今後満足度を向上させるような取り組みが検討が望まれる。